

11501造船業における死傷災害100事例まで（2019年）

No	年	月	発 生 時	死傷災害事例	年 齢	事 故 の 型	起因物 (小)	労働 者規 模
1	2019	1	14 ～ 15	組み立て工場ブロック搬出場で、班長とともにクレーン吊り上げ用ピース（重さ19.9kg、長さ558mm、板厚32mm）を取り付ける作業をしていた。ピースをピース取り付け用台車の上に載せようと持ち上げた際に手が滑り、ピースを右足に落として骨折した。	69	4	521	10～ 29
2	2019	1	9 ～ 10	クレーンで鉄板を吊るそうとしたら、鉄板が外れ、右足を挟み、骨折した。	37	4	211	1～9
3	2019	1	17 ～ 18	船体作業中に魚艙で足を滑らせ、左足をひねり、左膝靭帯に損傷を負った。	36	2	239	1～9
4	2019	1	10 ～ 11	ドックに入渠中の船で、荷揚げ用水平スクリュウコンベアの間 軸を取り外す作業を確認していた。そのとき、コンベアケースの 上部に仮置きしていた治具に手を掛けたところ、体勢を崩して約 1.2m下の右舷側パイプに転落した。その際、治具が左足脛に落 下して負傷した。	56	1	418	300 ～ 499
5	2019	1	16 ～ 17	ユニット工場で、上甲板からクレーンを使って治具を地上に降ろ していた際、降ろす場所に重ねて積んでいたH鋼が崩れてきて、 受け台に左手小指を挟み骨折した。	24	5	521	10～ 29
6	2019	1	11 ～	同僚と2人で船のコンテナ台（高さ1950mm×幅270mm）の設置 中、コンテナ台の位置決めをしていたとき、コンテナ台がハッチ コーミングのレールに接触してバウンドした。その際、止めよう	63	7	211	1～9

			12	として右手を入れたところ、コンテナ台とレールの間に小指を挟み骨折した。				
7	2019	1	13 ～ 14	現場にて、通常は2人で行っている作業を1週間ほど1人で行い、重いものを頻繁に持っていたところ、右腸腰筋血腫を発症した。	22	19	521	1～9
8	2019	1	16 ～ 17	造船場内で、上を向いて溶接作業をしていた際に作業着の中に火の粉が入り、上着が燃えて胸部に火傷を負った。	64	11	332	10～ 29
9	2019	1	14 ～ 15	4人でローフロア外板の磨き作業中、次の磨き作業へ移動する際、ローフロアの縞鋼板が外れているのに気付かず右足を落とし、はしごの先端部で右脇腹に挫創を負った。	25	1	419	1～9
10	2019	1	14 ～ 15	大型タイヤに吊り上げ用穴開け作業のため、空気始動用ドリルの先端に刃物を取り付け回転させようとしたところ、ソケットが外れドリルが空回りしハンドル部分が左腕に当たり靭帯を断裂した。	63	7	159	1～9
11	2019	1	13 ～ 14	被災者は、同僚作業員15名とともにタンクの足場解体作業を行っていた。半分程度進んだ頃、パイプを外した際にステージが揺れ出したため、被災者が補強に向かった直後、ステージが倒壊した。その際に被災者が下敷きになり、肋骨を折り、顎に裂傷を負った。	33	5	411	1～9
12	2019	1	16 ～ 17	船台上船尾付近で、船尾材加工のために足場板を並べている際に、指を挟み、右手薬指を負傷した。右手薬指指先粉碎骨折であった。	24	7	522	1～9
13	2019	2	10 ～ 11	足場解体後、足場板（4m、20kg）を所定の位置に片付けるため両手で持って運搬中に、バランスを崩して足場板が落ちそうになった。足場を持ち直そうとしたところ、右手に挫傷を負った。	26	19	921	50～ 99
			10	クレーンで鉄板を吊り上げ、鉄板の下に盤木を置こうとしたとこ				

14	2019	2	～ 11	ろ、鉄板が落ちてきて、右手を挟まれ、人差し指と中指および薬指に打撲傷を負った。	31	4	611	1～9
15	2019	2	9 ～ 10	天井クレーンに鉄板を吊るして移動させている際に、鉄板が振れて右足に当たり、右腓骨の骨幹部骨折を負った。	24	6	611	1～9
16	2019	2	9 ～ 10	1m位の足場の階段を上っているとき、誤って階段を掴み損ね、後ろにひっくり返り腰を打ち骨折した。	61	1	411	10～ 29
17	2019	2	15 ～ 16	クレーンを解体するため高さ約15mの所に上がった際、バランスを崩して海へ転落し、頸部を骨折した。	22	1	211	1～9
18	2019	2	8 ～ 9	ハッチコーミングブロックを発送するため、バージ上で玉掛作業をしていた。クレーンで吊られたブロックを地下ろししたが、接地状態が不安定だったので再度巻き上げて下ろし直そうとした。その際に荷が振れて、押さえようとしてブロックに手を掛けたところ、右足が部材の下に入っていたので小指を挟み骨折した。	54	7	211	1～9
19	2019	2	6 ～ 7	ブロックを塗装工場内へ移動させる際、同僚がフォークリフトでブロック用の架台を前進させようとしたとき、近くで作業していた被災者に気付かず、架台が被災者の左足に衝突して骨折した。	44	6	222	50～ 99
20	2019	2	11 ～ 12	現場で樹木や竹類を取り除いていたとき、足下が崩れて2mほど落下し、左膝を地面についた際にブロックにぶつけて骨折した。	56	3	379	1～9
21	2019	2	9 ～ 10	トラックの荷台上で、産業廃棄物の積み替え作業をしていた。ジブクレーンでゴミ缶を吊り上げた際に後方へ大きく振れて、被災者がトラック後方へ追いやられた。そのとき、アオリに足を取られて荷台から転落し、右側頭部・右鎖骨・肋骨を負傷した。	67	1	211	10～ 29
			10	ブロック組み立て工場内で手押しポンプを右手に、左手にラムを				50～



30	2019	3	13 ～ 14	配管溶接作業中、高さ2mの足場上でデッキスカッパの溶接をしていた際、胸部・背部・気道に熱傷を負った。	60	11	332	10～ 29
31	2019	3	10 ～ 11	溶接工場スキット上で中組ブロックの受け取り作業中、中組材をプレート上に降ろす際、プレート上に金物があったので右足で蹴り飛ばそうとした。その際、下がってきたガーダーとプレートの間に右足が挟まれて負傷した。	32	7	211	1000 ～ 9999
32	2019	3	13 ～ 14	コンベア定盤歯の交換作業中に、コンベア定盤歯が起き上がったため、使用していたバールが頬に当たり、右の頬骨を折った。	38	6	169	1～9
33	2019	3	19 ～ 20	パイプラックに積まれているパイプの取り出し作業中に、他のパイプが転がって落ちてきて、右足踵を骨折した。	51	4	211	10～ 29
34	2019	3	15 ～ 16	工場内にて樹脂吹き付け機の分解メンテナンス中、部品の清掃をしていた際、内部の硬化した樹脂を取り除くためにハンマーで叩いていたところ、突然部品が爆発して頭部・左手を負傷した。	67	15	364	50～ 99
35	2019	3	14 ～ 15	アルミ製のマストを重機で引っ張りながら降ろす作業中、マストが突然中央部分から折れて、作業者の方に倒れてきて、上にいた作業者が約2.5mのところから落下し、右橈骨を折った。	53	1	239	10～ 29
36	2019	3	9 ～ 10	造船所でデッキハウスの仕上げ作業中、グラインダーを掛けていたとき、グラインダーが顔面方向に弾かれたため、避けようとして転倒した。その際、グラインダーが左手首に当たり負傷した。	20	8	153	1～9
37	2019	3	15 ～ 16	研磨塗装工場で、ブロック外板の塗装作業をしていた。海側の面に取り掛かったとき、塗り残しがあることに気付き、脚立を使用して塗り残し部を塗ろうとした。その際、バランスを崩して約1.5mの高さから脚立ごと転倒し、左手首を骨折した。	27	1	371	1～9
			11	養殖作業船の甲板上にて、カISING肋骨にパイプを取り付ける				





54	2019	5	7 ～ 8	新造船を入船から出船へシフトする作業中、係船ロープ2本を外すため、岸壁側のビットからロープを緩めて下ろそうとした。その際、固縛が外れてロープ2本が落下し、左手親指と左大腿部を骨折した。	64	4	379	1～9
55	2019	5	10 ～ 11	造船所内で足場解体作業が終わり、足場板（2000×300×60mm、13.6kg）を片付けていた際、足場板2枚を担いだときに右肩を脱臼した。	31	19	921	10～ 29
56	2019	5	14 ～ 15	工場内にて、修繕船APT内でガス切断機に着火しようとした際、ガスに引火して右手・首・両耳など熱傷を負った。	56	11	331	1～9
57	2019	5	14 ～ 15	造船工場で、油圧ジャッキを使いブロックの位置決め作業中、ラムがずれて握っていたホースの根元部とブロックに左手を挟み骨折した。	34	7	219	1000 ～ 9999
58	2019	6	14 ～ 15	構内NC定盤にて、NCプラズマ切断機を操作中に、作動中の切断機の下部の補強材が右足甲を巻き込みながら手前に移動してきた。後方に下がっている際に、右足踵が粉塵ダクト点検用マンホールに挟まれ、圧迫される状態で足裏を裂傷し、全中足骨多発性開放骨折および右足広汎性圧挫傷を負った。	42	7	151	50～ 99
59	2019	6	12 ～ 13	塗装作業を行うため、エアレス塗装機の段取りし開始しようとしたが、エア圧がかかっておらず、エアを入れるよう他の作業者に指示をした。右手にハンドガンを持った状態で待機し、圧が掛かりだしたのを確認したのと同時に、ガンを構えようとして左手でホースを握った際に、ホースが破孔し、孔から噴出した塗料により左手の掌、手指を負傷した。	33	15	519	1～9
60	2019	6	13 ～ 14	船殻工場内で、クレーンを使用して墜落防止用の架設手摺りを上げた後、ブロックから下りる際に横にあるローリングタワーに乗り移ろうとした。そのとき、ローリングタワーの手摺りに足を掛けたところ、バランスを崩して約5m下に転落し、顎・頬・肋骨・	48	1	418	300 ～ 499





68	2019	7	10 ～ 11	船尾側外板でオートシフターを用いて高圧洗浄作業をしていた際、熱中症により意識を失い、救急搬送された後に死亡した。	66	11	715	10～ 29
69	2019	7	16 ～ 17	船内で溶接作業中、バランスを崩して脚立から転落し、左肩を脱臼骨折した。	63	1	371	30～ 49
70	2019	7	11 ～ 12	船内清掃中に、船横にある海水が出入する開閉口の錆を取る作業中、錆で開閉口が固くなって開かなかったため、開閉口下部を蹴り開閉口が回ったが、上部が自分の方に倒れ、取っ手を握っていた左手が当たり、打撲と裂傷を負った。	42	6	379	10～ 29
71	2019	7	14 ～ 15	造船鉄工場内で、定盤上でエキスパンド敷板を製作中、少し削ろうとエキスパンドを左手に持ち、右手でグラインダーを掛けたところ、持っていたエキスパンドが跳ねて左手に刺傷を負った。その際、被災者は保護具の皮手袋を装着していなかった。	30	8	153	10～ 29
72	2019	7	9 ～ 10	魚市場で、サバの冷凍ブロックをトレーラーのコンテナに積み込む際、氷が溶けて足が滑り、高さ約1.5mのコンテナ後部から転落し、顔面と右手首を骨折した。	63	1	221	10～ 29
73	2019	7	10 ～ 11	造船所の工場内で、移動式クレーン車の運転席から下りる際に、足を滑らし1.45m下へ落下した。右骨盤を負傷した。	68	1	212	1～9
74	2019	8	11 ～ 12	資材倉庫で片付け作業中、資材棚の上（高さ1.8m）に上がって作業していた際、体勢を崩して落下した。そのとき、下に置いてあった足場資材に体を打ちつけて、肋骨と左肩甲骨を折った。	41	1	416	10～ 29
75	2019	8	11 ～ 12	船体ブロックの傾斜した壁面（高さ約1.8m）に取り付けてあったピースを撤去した後、溶接痕をガウジングで流していた。その際、溶けた金属が長靴の中に流れ込み、右足に火傷を負った。	26	11	331	10～ 29
			15	艀装船居住区通水作業のため、居室内のバルブを内装壁点検口か				500

76	2019	8	～ 16	ら開放しようとした際、バルブと点検口の切り口で左手甲を挟み中指を負傷した。直前まで手袋をしていたが、筆記具を使うため一旦外していた。	34	7	391	～ 999
77	2019	8	11 ～ 12	工場ドックにて、えい航船のエンジンに空気を送るためコンプレッサーを作動させたが、空回りしてモーターとベルトが停止していたため、皮手袋をした右手でベルトを握って引っ張って回した。その際、コンプレッサーの電源を切っていなかったため、ベルトが回転を始めたと同時に右手がモーター側の歯車とベルトの間に巻き込まれ、薬指と中指を負傷した。	58	7	121	10～ 29
78	2019	8	11 ～ 12	船内確認後、ハッチカバー上から下船するためタラップを渡ろうとした際、足下のホースに引っ掛かって約1,350mmの高さから転落し、タラップの階段に腹部を打ち付けて肋骨と肝臓を負傷した。	33	1	418	100 ～ 299
79	2019	8	9 ～ 10	バンドソーを使用してメッキ配管取付用タグプレート切断作業後、フラットバー1枚が加工台上に倒れ、元に戻そうと左手を出した際、フラットバーとクランプの間に左手を挟み負傷した。	44	7	156	30～ 49
80	2019	8	15 ～ 16	構内の船の中で作業中、パイプを頭の上位の高さの所に取り付けようとしたところ、足が滑り、壁とパイプの間に左手中指を挟み、骨折した。	20	7	521	1～9
81	2019	8	10 ～ 11	溶接作業中、昇降タラップから下りる際にタラップが横滑りしたため飛び下りたところ、左脛と右踵を骨折した。	54	1	371	500 ～ 999
82	2019	8	14 ～ 15	造船所内のヤードで、カーゴタンクの反転用ピースにジブクレーンのシャックルを取り付けていた。反転用ピースの位置まで移動する際に、カーゴタンクのデッキトランスを跨いで飛び下りたとき、転倒して右足を骨折した。	48	2	418	1～9
83	2019	8	12 ～	工場構内で、昼食を終えて作業場に戻る際、通路に敷かれていた	71	2	417	30～

			13	足場材で滑り、転倒して右肩を負傷した。				49
84	2019	9	9 ～ 10	造船所構内で塗装下地処理を終えて、岸壁に設置してあるバキューム装置を使い、掃除を行っていた。バキューム装置が停止したため、確認しようと岸壁に取り付けてある垂直はしごに登っている際に、身の危険を感じ、高さ2.7mから飛び下りて、両足の踵を骨折した。	30	1	413	10～ 29
85	2019	9	8 ～ 9	造船所ドック内で、養生撤去作業中に、高さ1.8mの足場の上で、足を滑らせ転落し、右脛骨近位開放骨折となった。	65	1	411	10～ 29
86	2019	9	8 ～ 9	始業時間になり、コンクリートの屋外作業場で、溶接機の使用準備のため接続コードを延ばしている作業中、約40cmの段差がある部分で左足を下ろしたところ、左足首を捻挫した。	40	19	419	1～9
87	2019	9	15 ～ 16	工場でボートのダビットを組み立てる作業中、ジブクレーンで左舷側のダビットを吊り上げたときに傾き、架台に仮置きしていた右舷側のダビット（約3,000kg）に接触して倒壊した。その際、チェーンブロックを調整していた被災者に当たり、肋骨を折って肺を負傷した。	44	4	211	1～9
88	2019	9	14 ～ 15	作業台船内で発電機を載せ替えていた際、発電機の排気管を取り換えるため、旧排気管をサンダーで切断していた。そのとき、サンダーの刃が誤って左膝に接触して裂傷を負った。	25	8	153	30～ 49
89	2019	9	13 ～ 14	工場で作業中、トイレに行った後、水を飲むためにウォーターサーバーが設置してある場所に向かって通路を歩いていた。その際、通路に敷かれたアース用のフラットバーにつまずき、転倒して右鎖骨を折った。	55	2	417	50～ 99
90	2019	9	13 ～ 14	作業長の指示の下、工場外にあるアングルを工場内に持ち込むため、トレーラーに積もうと玉掛けの準備を行っていた。並列に置いてあるアングルの間隔を空けるため、金てこを差し込もうとし	53	4	364	30～ 49



98	2019	10	15 ～ 16	製品の出荷作業中、製品を奥から手で引っ張り出した際に製品が落下して、左足に当たり骨折した。	68	4	379	30～ 49
99	2019	10	18 ～ 19	船の塗装作業中、ブロック間を移動する際に約2.3mの高さから転落して、両足踵を骨折した。	34	1	417	500 ～ 999
100	2019	10	6 ～ 7	造船所内を自転車で移動中に、強風に煽られて転倒し、柱で体を打ちつけ、外傷性多発肋骨骨折、右血気胸、および肺挫傷を負った。	66	2	719	10～ 29

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.html](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html)(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害100事例まで（2019年）](#)に戻る。